

平成28年3月期  
第2四半期決算補足資料

平成27年11月9日

 **英和株式会社**

(東証二部 9857)

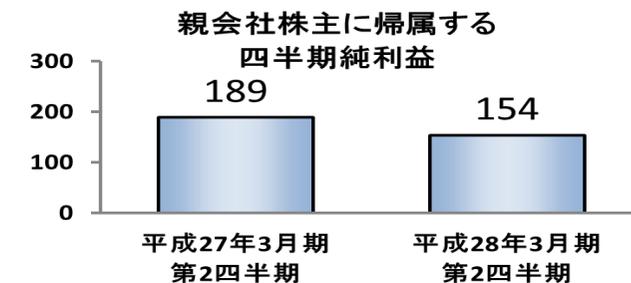
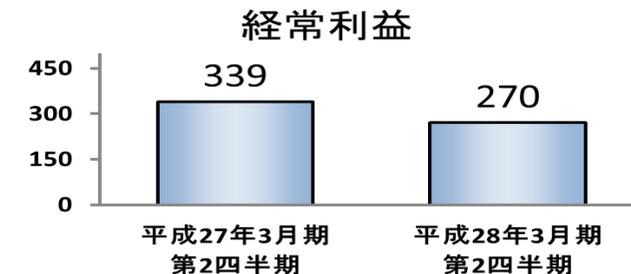
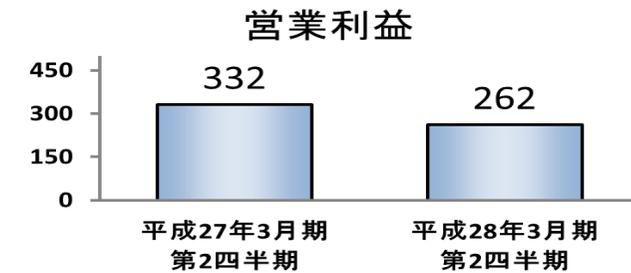
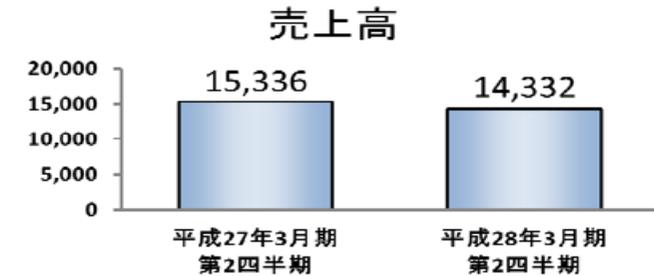
平成28年3月期 第2四半期 連結決算概要・・・ P.3

平成28年3月期 連結業績見通し・・・ P.14

## 平成28年3月期第2四半期 連結決算概要

# 平成28年3月期第2四半期業績

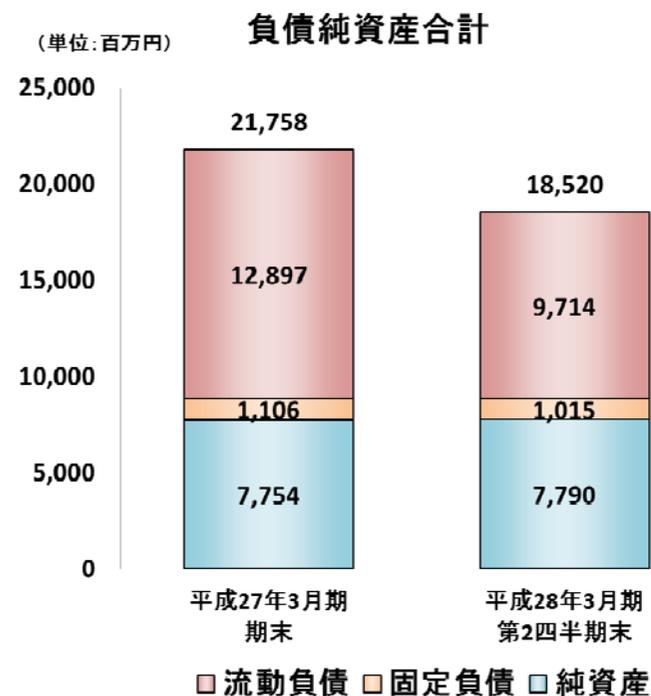
(単位:百万円)	平成27年 3月期	平成28年 3月期	前年同期比	
	第2四半期	第2四半期	増減額	増減率
売上高	15,336	14,332	▲ 1,003	▲ 6.5%
営業利益	332	262	▲ 70	▲ 21.1%
経常利益	339	270	▲ 69	▲ 20.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	189	154	▲ 35	▲ 18.6%



## 決算の概況

- 建設業向け産業車両、鉄鋼製品製造業向け各種産業機械設備、船用機器製造業向け計測制御機器等の販売が堅調に推移したものの、機械製造業、プラント・エンジニアリング他国内業界全般的に設備投資が低調で、売上高は前年同期比6.5%減少しました。

# バランスシート(連結)

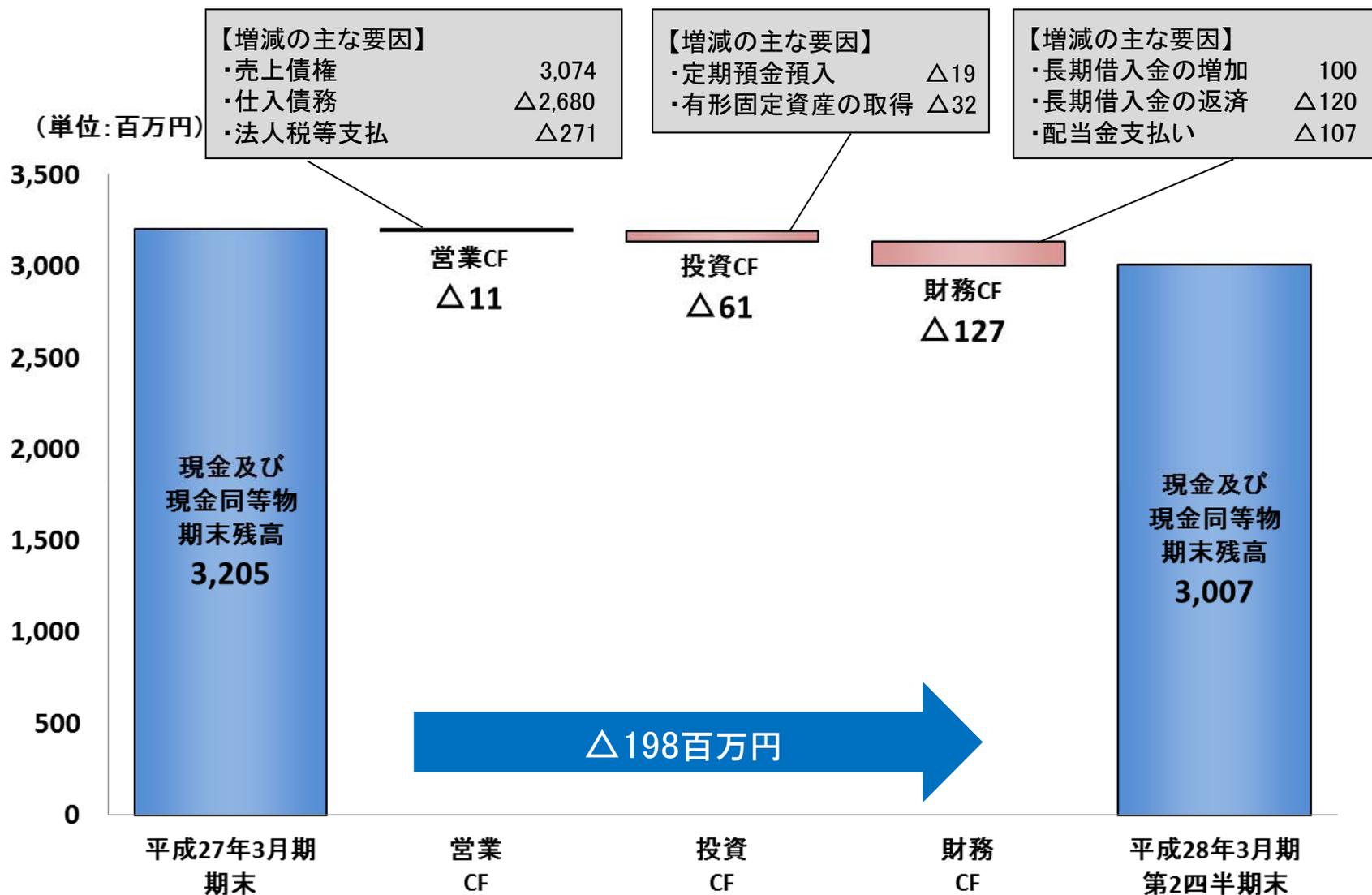


## 平成28年3月期第2四半期 ハイライト(カッコ内は前期比)

資産	【増減の主な要因】
◆受取手形及び売掛金: 11,348(△3,071)	売上債権の回収が進んだことによる減少

負債・純資産	【増減の主な要因】
◆支払手形及び買掛金: 8,409(△2,677)	仕入債務の決済が進んだことによる減少
◆未払法人税等: 60(△230)	
◆純資産: 7,790(+35)	当期純利益による増加

# 連結キャッシュ・フロー



# 品目別売上高推移

(単位:百万円)

	平成26年3月期		平成27年3月期			平成28年3月期		
	第2四半期	構成比	第2四半期	構成比	前年同期比	第2四半期	構成比	前年同期比
工業用計測制御機器	6,609	54.5%	7,418	48.4%	+ 12.2%	7,086	49.4%	▲ 4.5%
環境計測・分析機器	1,165	9.6%	1,067	7.0%	▲ 8.5%	1,030	7.2%	▲ 3.4%
測定・検査機器	788	6.5%	983	6.4%	+ 24.7%	843	5.9%	▲ 14.2%
産業機械	3,560	29.4%	5,866	38.2%	+ 64.8%	5,371	37.5%	▲ 8.4%
合計	12,124	100.0%	15,336	100.0%	+ 26.5%	14,332	100.0%	▲ 6.5%

# 品目別売上高

## 工業用計測制御機器

産業技術の基本となる計測制御技術を  
安全性・信頼性で支える。

- ◆工業用センサー
- ◆制御機器
- ◆受信機器
- ◆情報通信・変換機器

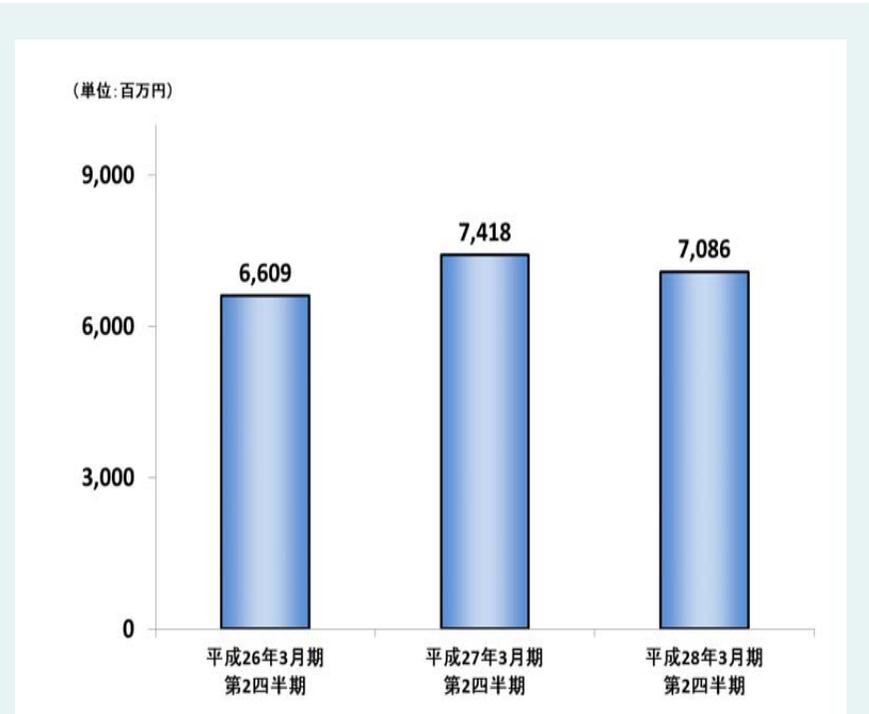
### 取扱い商品一例



電波レベル計



記録計



**【増減理由】**  
 当第2四半期の売上高は70億86百万円(前年同期比4.5%減)となりました。  
 船用業界向けディーゼルエンジン用各種センサーの売上や、火力発電所向け液面センサー更新案件の売上は増加しましたが、自動車部品製造業や公共インフラ向け案件を中心に設備投資が低調で、総じて販売が減少しました。

# 品目別売上高

## 環境計測・分析機器

『身近なところから地球環境保全』を重点テーマに、ユーザーの環境改善対策に貢献。

- ◆水質・ガス・大気分析機器
- ◆気象観測機器
- ◆振動・騒音・臭気測定機器

### 取扱い商品一例

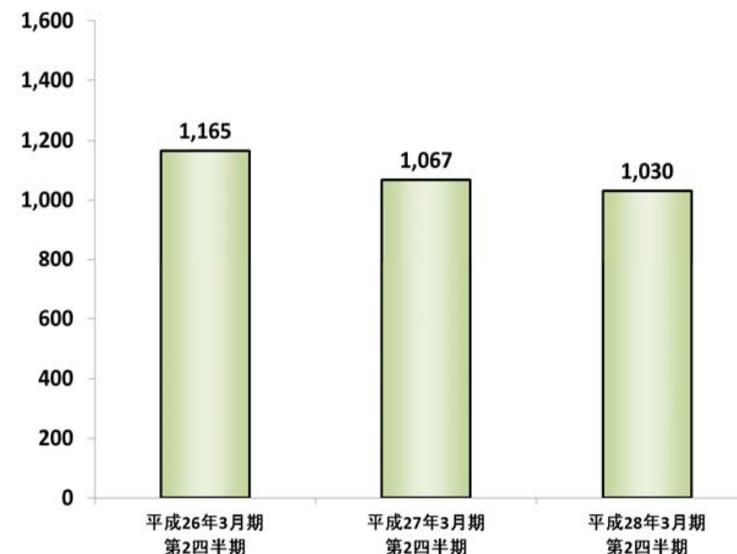


複合ガス検知器



地震計

(単位:百万円)



### 【増減理由】

当第2四半期の売上高は10億30百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

鉄鋼業界においてガス分析計の販売が堅調に推移した他、各工場の水質管理機器の更新案件も順調に推移しましたが、前年のような大型定期修繕による設備更新が一巡した為、コンビナート関連顧客で減少しました。

# 品目別売上高

## 測定・検査機器

研究開発や製品の検査を  
確かな品質でサポート。

- ◆形状検査・試験機器
- ◆非破壊検査・試験機器
- ◆材料検査・試験機器
- ◆電力監視機器・システム

### 取扱い商品一例

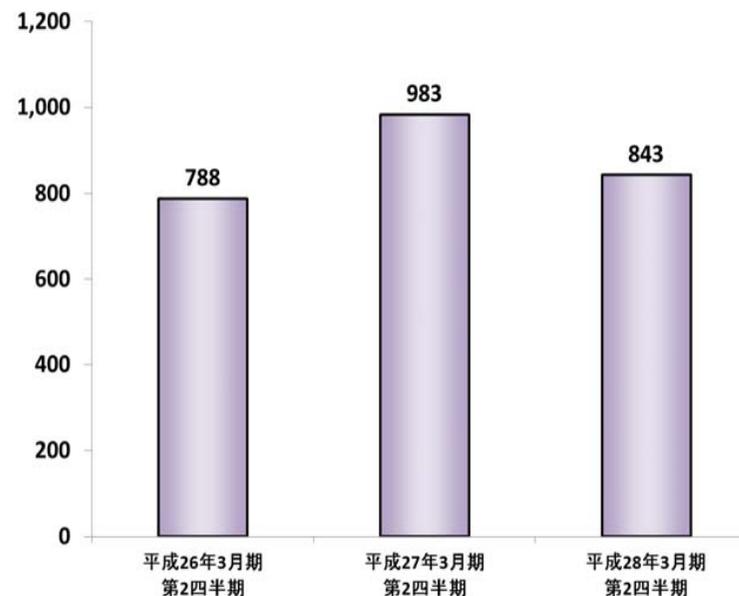


工業用ビデオスコープ



輪郭形状測定器

(単位:百万円)



### 【増減理由】

当第2四半期の売上高は、8億43百万円(前年同期比14.2%減)となりました。

自動車部品製造業向けに検査装置や測定機の販売が伸長しましたが、前年のような大型検査装置の案件がなく減少となりました。

# 品目別売上高

## 産業機械

あらゆる生産設備・社会資本設備で活用される産業機械のソリューションを提供。

- ◆油・空圧機器
- ◆ポンプ・バルブ機器
- ◆道路維持機械
- ◆エネルギー関連設備
- ◆各種装置

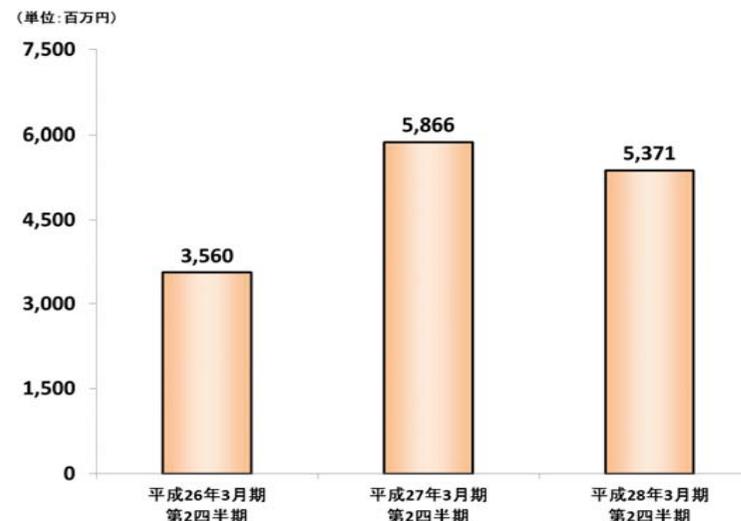
### 取扱い商品一例



ポンプ



路面清掃車



### 【増減理由】

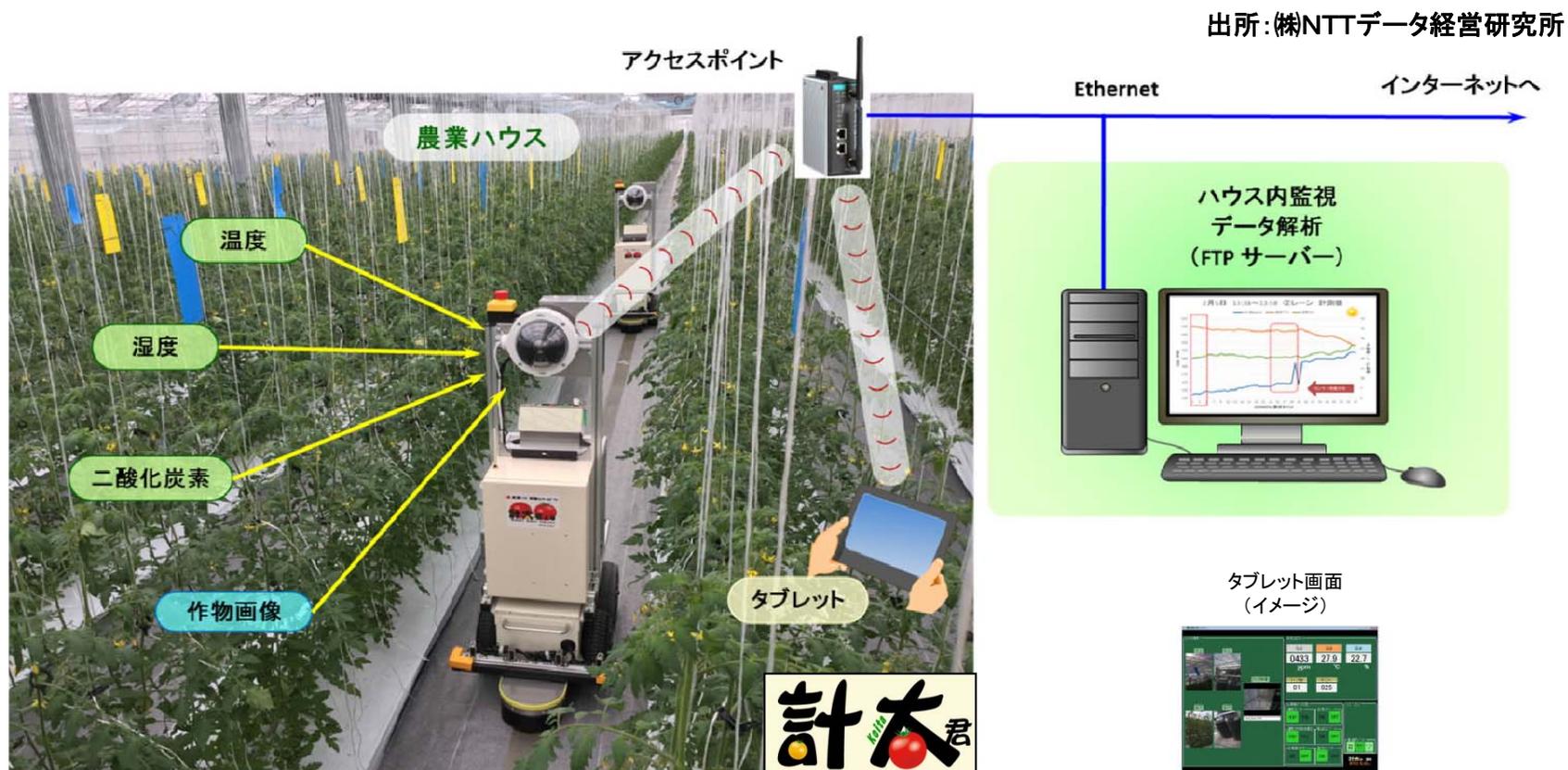
当第2四半期の売上高は、53億71百万円(前年同期比8.4%減)となりました。

産業車両に関しては、建設業界向け路面清掃車の販売が好調に推移しました。

環境・省エネのキーワードのもと、当社が注力している高効率・省エネポンプや省エネ照明器具が増加した他、建設機械業界向けに油圧機器や油圧装置の販売が増加しましたが、前年まで好調であったメガソーラー案件が大幅に減少し、関連付帯機器の販売が大幅減少しました。

## ◆ICT化を目指す日本の農業を支援する環境データ自動収集ロボット

- 農業用ハウス内の温度、湿度、二酸化炭素濃度などの環境データを自走しながら収集。
- 「攻めの農業」の実現に向け、注目されているアグリビジネスへ取組中。



## ◆環境配慮型機器(水質管理機器)

- 省力化と低コストで安全・安心な水質管理に貢献
- 自動制御システムの構築も対応

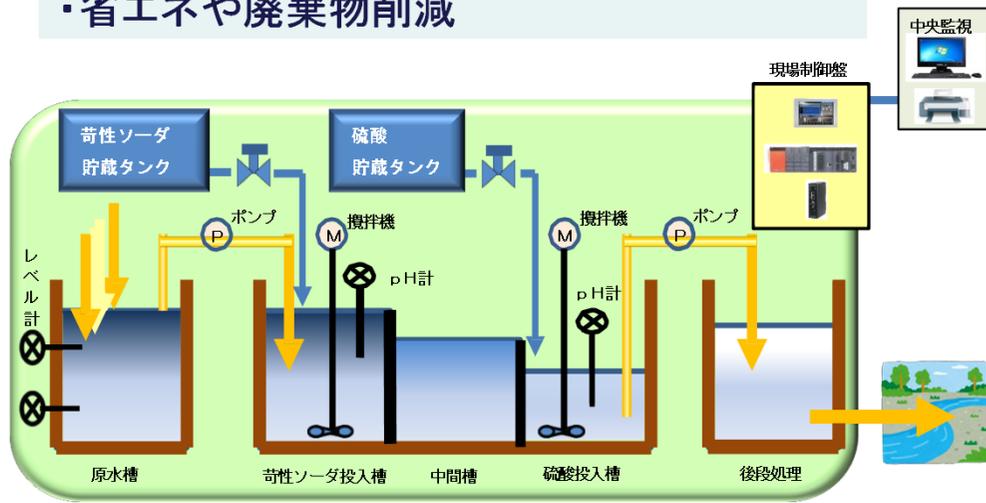
### 取扱い商品

※当社オリジナル  
カタログ抜粋



### ◇目的

- ・監視による排水処理の負荷軽減、適正化
- ・水質汚濁事故の未然防止
- ・水質総量規制等の法規制への対応
- ・省エネや廃棄物削減



## 平成28年3月期 連結業績見通し

# 通期業績見通し



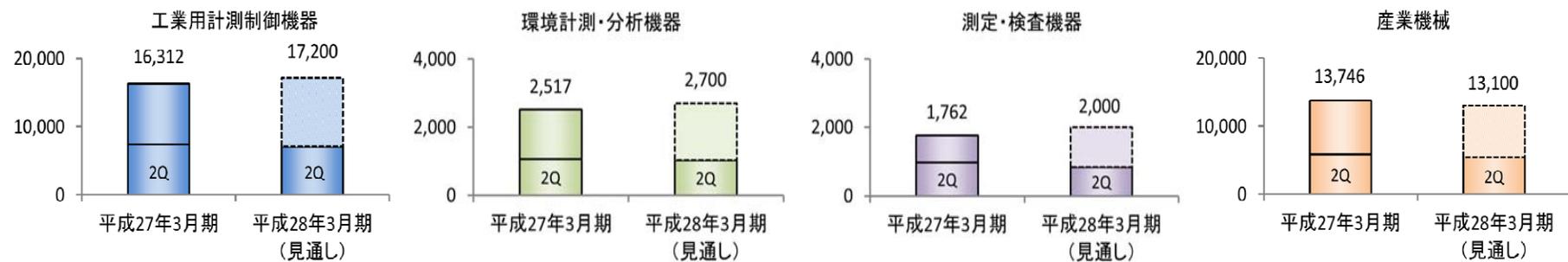
(単位:百万円)	平成27年3月期				平成28年3月期			
	第2四半期	前年同期比	通 期	前期比	第2四半期	前年同期比	通期(見通し)	前期比
売上高	15,336	+ 26.5%	34,338	+ 12.8%	14,332	▲ 6.5%	35,000	+ 1.9%
営業利益	332	+ 203.4%	1,008	+ 49.0%	262	▲ 21.1%	1,030	+ 2.1%
経常利益	339	+ 150.5%	1,030	+ 44.5%	270	▲ 20.4%	1,030	▲ 0.1%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	189	+ 189.6%	584	+ 55.1%	154	▲ 18.6%	584	▲ 0.1%
1株当たり利益(円)	29.99	+ 189.8%	92.35	+ 55.2%	24.40	▲ 18.6%	92.27	—
総資産	18,260	+ 11.4%	21,758	+ 6.9%	18,520	+ 1.4%	—	—
純資産	7,317	+ 5.9%	7,754	+ 7.8%	7,790	+ 6.5%	—	—
自己資本比率(%)	40.1	▲ 2.1	35.6	+ 0.3	42.1	+ 2.0	—	—

## 通期 業績見通し

- 通期の業績予想につきましては、現時点では平成27年5月12日に発表いたしました業績予想通りであります。

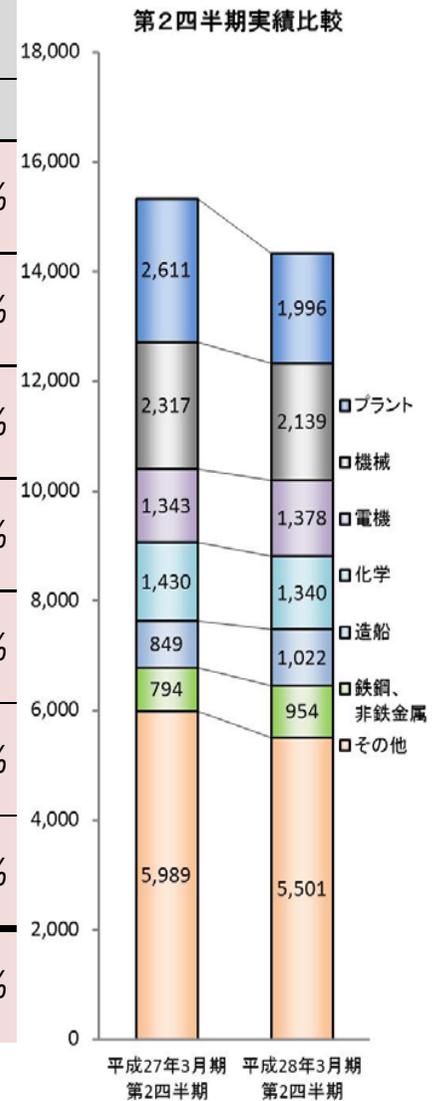
# 通期品目別売上高見通し

(単位:百万円)	平成27年3月期				平成28年3月期						進捗率 (対見通し)
	第2四半期	構成比	通期	構成比	第2四半期	構成比	前年同期比	通期(見通し)	構成比	前期比	
工業用計測制御機器	7,418	48.4%	16,312	47.5%	7,086	49.4%	▲ 4.5%	17,200	49.2%	+ 5.4%	41.2%
環境計測・分析機器	1,067	7.0%	2,517	7.3%	1,030	7.2%	▲ 3.4%	2,700	7.7%	+ 7.3%	38.2%
測定・検査機器	983	6.4%	1,762	5.2%	843	5.9%	▲ 14.2%	2,000	5.7%	+ 13.5%	42.2%
産業機械	5,866	38.2%	13,746	40.0%	5,371	37.5%	▲ 8.4%	13,100	37.4%	▲ 4.7%	41.0%
合計	15,336	100.0%	34,338	100.0%	14,332	100.0%	▲ 6.5%	35,000	100.0%	+ 1.9%	41.0%

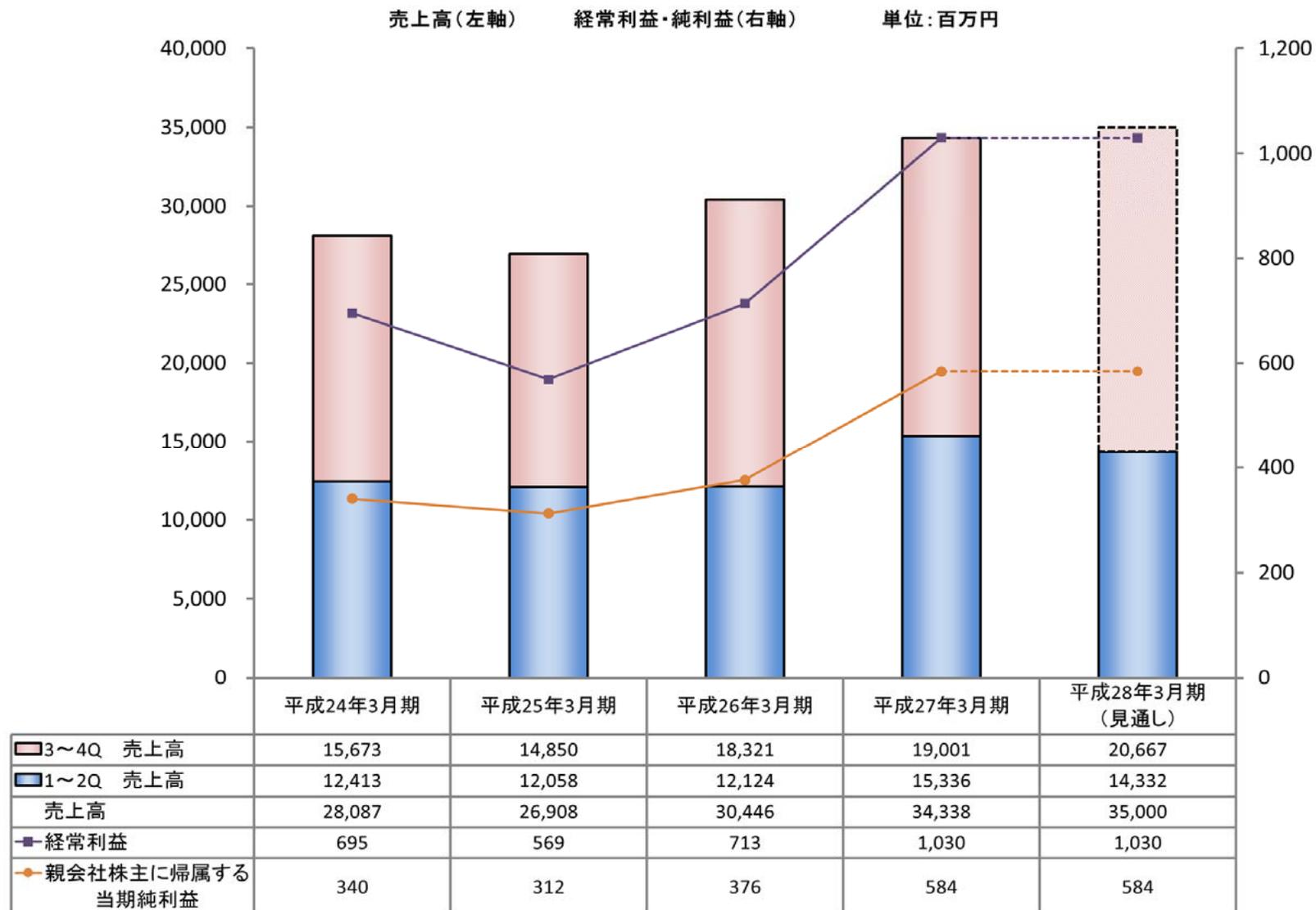


# 通期業界別売上高見通し

(単位:百万円)	平成27年3月期				平成28年3月期					
	第2四半期	構成比	通期	構成比	第2四半期	構成比	前年同期比	通期(見通し)	構成比	前期比
プラント	2,611	17.0%	5,672	16.5%	1,996	13.9%	▲ 23.6%	6,000	17.1%	+ 5.8%
機械	2,317	15.1%	5,172	15.1%	2,139	14.9%	▲ 7.7%	5,400	15.4%	+ 4.4%
電機	1,343	8.8%	2,880	8.4%	1,378	9.6%	+ 2.6%	3,000	8.6%	+ 4.2%
化学	1,430	9.3%	2,863	8.3%	1,340	9.4%	▲ 6.3%	3,000	8.6%	+ 4.8%
造船	849	5.5%	1,904	5.5%	1,022	7.1%	+ 20.3%	2,000	5.7%	+ 5.0%
鉄鋼・ 非鉄金属	794	5.2%	1,772	5.2%	954	6.7%	+ 20.2%	1,800	5.1%	+ 1.6%
その他	5,989	39.1%	14,072	41.0%	5,501	38.4%	▲ 8.2%	13,800	39.5%	+ 1.9%
合計	15,336	100.0%	34,338	100.0%	14,332	100.0%	▲ 6.5%	35,000	100.0%	+ 1.9%



# 売上高・経常利益・純利益業績推移



※平成26年3月期第3四半期より、東武機器㈱を連結子会社としております。

# 株主還元策

## 【配当政策】

配当額: 1株につき年10円を最低限維持 ・ 配当性向: 30%を目標

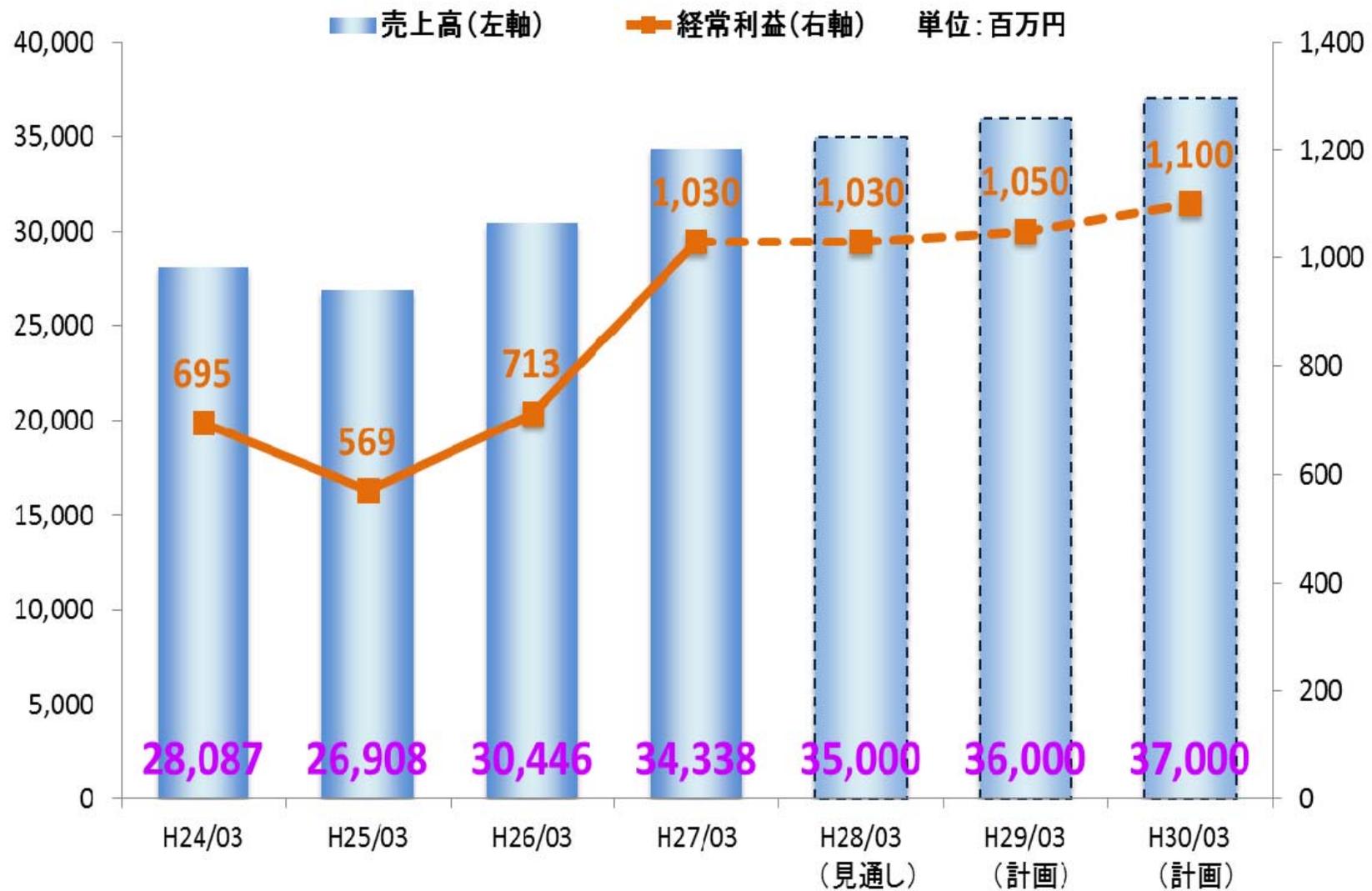
	第65期 (平成24年3月)	第66期 (平成25年3月)	第67期 (平成26年3月)	第68期 (平成27年3月)	第69期(予定) (平成28年3月)
普通配当	15.00円	13.00円	15.00円	22.00円	22.00円
配当性向	27.9%	26.3%	25.2%	23.8%	
株主優待 (500株以上)	GREENSHOES CARD (1,000円)	GREENSHOES CARD (1,000円)	GREENSHOES CARD (1,000円)	GREENSHOES CARD (1,000円)	
ROE (株主資本利益率)	5.2%	4.3%	4.6%	7.8%	

平成28年3月期予定  
年間普通配当  
22.00円  
第2四半期末5円  
期末17円



GREENSHOES CARD

# 中期3ヵ年経営計画



## 本資料に関するお問い合わせ先



経営企画部

TEL: 06-6539-4816

E-Mail: [ir-info@eiwa-net.co.jp](mailto:ir-info@eiwa-net.co.jp)

URL: <http://www.eiwa-net.co.jp>

(注)この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受ける為、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。本情報及び資料の利用は、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。